

第1章 計画の基本事項

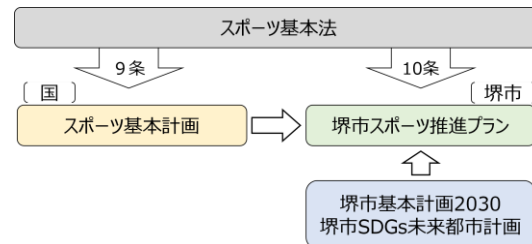
■ 計画策定の趣旨・目的

スポーツは、心身の健全な発達を促し、健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものです。市民がスポーツに親しむことは、健康寿命の延伸や体力向上、人と人との交流を通じた地域社会の活性化などにつながります。

本市では、これまでもスポーツ推進に関する計画に基づき、市民のスポーツ活動を支援し、一定の成果を得ています。しかし、人口減少・高齢化、ライフスタイルの多様化、共生社会の実現に向けた意識の高まりなど、社会情勢は絶えず変化しています。また、市民がスポーツに関する活動に参画できる機会や環境の整備が、これまで以上に求められています。このような背景から、これまでの取組の成果と課題を検証し、社会の変化や新たな市民ニーズに対応したスポーツ行政を総合的かつ計画的に進めるため、本プランを策定します。

■ 計画の位置づけ

本プランは、スポーツ基本法並びに国のスポーツ政策を踏まえ、市政運営の大方針である「堺市基本計画2030」や「堺市SDGs未来都市計画」などの本市関連計画と連携しながら、堺市独自のスポーツ施策の方向性を示すものと位置づけます。



■ 計画の期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで（5年間）

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
第3次堺市スポーツ推進プラン	第4次堺市スポーツ推進プラン				
堺市基本計画2025	堺市基本計画2030				
(国) 第3期スポーツ基本計画					

第2章 計画の将来像

■ 計画の将来像

本プランでは、「市民それぞれが、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、生涯にわたってスポーツを楽しみ、その価値を享受できる都市」を将来像とします。スポーツを通じて人々がつながり、健康で心豊かな生活を送ることで、都市全体が活力にあふれ、未来へと発展するような地域社会を市民と実現します。

■ 基本理念

本プランは、上記の将来像を実現するため、前計画に引き続き「生涯にわたる多彩なスポーティブライフの実現～スポーツでライフスタイルを健康的で豊かにしよう～」を基本理念とします。

子どもから高齢者まで、また、トップレベルをめざす人から健康増進を目的とする人まで、すべての市民がそれぞれのライフステージや関心、体力に応じて、自分らしいスタイルでスポーツ・運動に親しめる環境を整え、市民生活の質の向上をめざします。

生涯にわたる多彩なスポーティブライフの実現
～スポーツでライフスタイルを健康的で豊かにしよう～

第3章 スポーツ推進の現状と課題

■ 国の関連施策

スポーツ庁が策定している「第3期スポーツ基本計画」の中に、地方自治体に関連する施策として「多様な主体におけるスポーツの機会創出」、「スポーツによる健康増進」などがあります。また、Sport in Life の理念に基づき、毎日の生活の中でスポーツに親しむ時間や環境を確保し、「楽しさ」や「喜び」といったスポーツの価値を認識する人を増やすことをめざしています。

本市としても、「第3期スポーツ基本計画」の大きな方向性を踏まえた施策展開が求められています。

■ 前計画の振り返り

前計画では「生涯にわたる多彩なスポーティブライフの実現～スポーツでライフスタイルを健康的で豊かにしよう～」を基本理念に掲げ、以下の二つの目標を定めて施策を推進しました。

- ①スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者）

※1日に複数回に分けて合計30分以上の運動をしている場合も含む。

→ 目標値50%を上回る成果を達成

- ②市内体育館等スポーツ施設利用者数

→ 新型コロナウイルス感染症による外出抑制や臨時休館等により目標値に到達しませんでした。

■ 堺市民のスポーツ実施状況と課題

本プランの策定に当たり、「堺市民のスポーツに関する市民意識調査」を実施しました。

【概要】

期間：令和7年4月30日から5月16日

対象：15歳以上の市民5,000名（回答数：2,062件）

【調査結果の概要】

- ①子育て世代（30～49歳）のスポーツ・運動習慣者割合が低い
スポーツ・運動習慣者割合が、全年代で最も低いことが明らかになりました。
- ②ライフスタイル、ライフステージに応じたスポーツに関する情報発信が必要
自身の体力レベルや生活リズムに合わせた情報や機会を求めていることが分かりました。
- ③堺市ゆかりのトップレベルチームの魅力と市民からの期待
スポーツ観戦やトップレベルチームに高い関心を示していることが分かりました。

■ 堺市が有するスポーツ資源と強み

(1) 大規模スポーツ施設

- ・J-GREEN堺
→国内最大級の施設規模
- ・大浜だいしんアリーナ・だいしん大浜武道館
→南大阪最大規模のアリーナと武道館
- ・くら寿司スタジアム堺
→プロ野球公認規格を有する野球場



J-GREEN堺



大浜だいしんアリーナ

(2) スポーツイベント

- ・堺市民オリンピック
→約半世紀を超える歴史ある生涯スポーツの祭典

(3) スポーツ団体

- ・堺市スポーツ協会
→スポーツの普及振興と競技力の向上
- ・堺市スポーツ少年団
→こどもたちの健全な育成



くら寿司スタジアム堺

第4章 施策展開

■ 施策展開の方向性

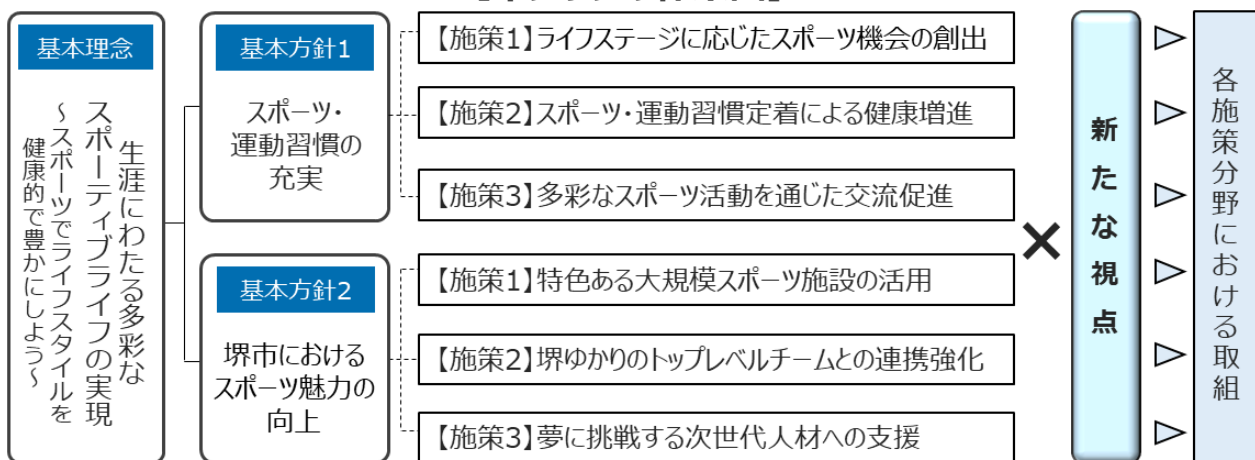
「第4次堺市スポーツ推進プラン」の策定に当たっては、**前計画の成果を継承しつつ、新たな社会の潮流や市民ニーズに対応するための施策の柱を構築**します。

前計画は、「スポーツ・運動習慣者割合」の目標値を達成するなどの成果を上げており、その基本理念や基本方針の体系は市民のスポーツ・運動習慣の定着に有効であったと評価できます。そのため、本プランにおいてもこの基本的な考え方を踏襲します。

その上で、市民意識調査で明らかになった課題や、国の動向などを注視しながら、以下の**三つの新たな視点を施策の柱**として重点的に盛り込みます。

- 年齢や体力の変化に応じたスポーツ・運動機会の提供及び情報発信
- スポーツツーリズムの推進
- アーバンスポーツの普及拡大

【本プランの体系図】



■ 目標指標

本プランの着実な推進、成果の客観的な評価のために、四つの目標指標を設定します。



※1日に複数回に分けて合計30分以上の運動をしている場合も含まれます。

■ 基本方針／施策推進

○ 基本方針1 スポーツ・運動習慣の充実

体力向上や健康寿命の延伸などを図るため、ライフステージに応じたスポーツ・運動を推進します。身近にスポーツ・運動に親しめる環境を整備し、スポーツ・運動活動に参加できる機会の提供により、若者や高齢者、障害者などが互いに支えあう共生社会の実現をめざします。

施策1 ライフステージに応じたスポーツ機会の創出

- (1) ビジネスパーソンや子育て世代のスポーツ・運動の推進
- (2) こどもたちのスポーツ・運動の推進及び部活動の地域連携・地域展開
- (3) 高齢者のスポーツ・運動の推進

施策2 スポーツ・運動習慣定着による健康増進

- (1) 地域のスポーツ機会の創出
- (2) 身近にスポーツ・運動に取り組む仕組みの強化
- (3) アーバンスポーツの推進

施策3 多彩なスポーツ活動を通じた交流促進

- (1) 障害者スポーツの推進
- (2) スポーツ指導者やスポーツボランティアの育成
- (3) 多彩なスポーツ交流の促進

○ 基本方針2 堺市におけるスポーツ魅力の向上

本市では、全国大会等にも対応可能なスポーツ環境を整備されており、特色ある施設機能を活かしたイベントを開催することで、大規模スポーツ施設の有効活用を図ります。また、本市にゆかりのある複数のトップレベルチームと連携し、スポーツ魅力の向上をめざします。

施策1 特色ある大規模スポーツ施設の活用

- (1) スポーツツーリズムの推進
- (2) ワールドマスターズゲームズ2027関西の開催
- (3) 全国大会等の開催

施策2 堺ゆかりのトップレベルチームとの連携強化

- (1) ホームゲームの開催
- (2) トップレベルチームとの連携による情報発信
- (3) 市民交流の促進

施策3 夢に挑戦する次世代人材への支援

- (1) トップアスリートとの交流促進
- (2) 競技力向上の支援

第5章 計画の推進体制

■ 計画の推進

市民をはじめ、各団体等と連携・協働し、情報共有及び連携体制を強化することで、オール堺でプランを推進し、計画の実現をめざします。

■ 計画の点検・評価

四つの目標指標の進捗状況を的確に把握し、定期的に点検・評価を行います。評価結果は広く市民に公表し、その結果を踏まえて事業内容の見直しや改善を行い、実効性の高い計画推進に努めます。